

生活支援プランMap（まっぷ）とは

『生活支援プランMap（まっぷ）』はご本人のこれまでの生育の記録や現状を整理し、家族をはじめ、支援に関わる支援者が、ご本人の特性やニーズを共通理解しながら、地域での安定した暮らしを実現できるよう願って作成されました。学校や職場などの所属先での生活や福祉サービス等を利用する際に、必要な支援やご本人の特性などをこの冊子を使って説明することで、関わる方々に、より理解していただくことを目的としています。

記入について

- ・全ての項目を記入する必要はありません。ご本人の支援にとって必要と思われる情報を整理していきます。ご本人の特性や伝えたい情報に応じて項目や内容を追加したり、削除したりしてもかまいません。
- ・支援者でなければ分からない内容については、支援者に協力を求めてみましょう。また、「個別の支援計画」や「個別の指導計画」等、ご本人の様子や支援内容が分かるものがあれば、代用してもかまいません。身近な支援者と相談しながら一緒に作成していきましょう。
- ・これまでのご本人の成長記録や相談、支援記録等を整理しておくことで、新たに関わる支援者に情報を伝えやすくなり、新しい相談機関にいくたびに同じことを何度も説明しなくてすむようになります。

< 保管・使用上の注意 >

- ・記載する内容は、大変重要な個人情報です。プライバシーの保護など、個人情報の取り扱いには十分注意してください。

支援機関の皆様へ（お願い）

この「生活支援プランMap（まっぷ）」は、ご本人の支援を引き継いでいくために必要な情報を整理していくことを目的としています。支援してきたことがこれまで以上に新たに関わる支援者につながるよう、趣旨を理解頂き、ご協力くださいますようお願い致します。

「生活支援プランMap（まっぷ）」の構成

プロフィールのページ

このページは【支援の基本となる情報】を記入します。
おもに母子健康手帳を参考にして記入するとよいでしょう。
ご本人のこれまでの生育の記録や相談の履歴などをまとめる
ことができます。

つなぐページ

このページは【支援の工夫など、つなげたい情報】を記入し
ます。ご本人の特徴にあった支援の工夫や環境をまとめておくこ
とで、共通の理解が深まります。
また、新しい支援者がこれからの支援方法を、よりよく考える
ための手立てにもなります。

その他の資料のページ

ここからは、ご本人の支援に参考となる資料を、必要に応じ
て、綴じこんでいきます。支援者と話し合う際に、活用するこ
とができます。

所属先や相談先と、ご本人の情報を共有する場合、何度も書き直す必要はなく、コピーで手渡すことができるので便利です。

手帳類(母子健康手帳、療育手帳など)や他機関でもらった資料が保管できるジッパー付きのクリアポケットを一緒にとじておくと便利です。

災害時や緊急の出来事の際に本人の状況(特性)や関わり方を伝えるツールとなります。

必要なページのみをとじることで、世界でひとつの“オリジナル Map”が作れます。

上手な活用法♪

いろいろな支援者に伝えていくことで、本人への理解が深めてもらえます。(支援者の方からも関わり方の参考になると聞いています!)

何気なく思っていることを文字で書くことで、ご本人の得意なことや楽しんで取り組めることがどんなことなのかに気付くことができます。

このファイルが本人の力を引き出す『支援のヒント集』として活用していきましょう!

生活支援プラン Map (まっぴ) Q & A

Q1 「生活支援プラン Map (まっぴ)」は誰が作るのですか？

基本的には、乳幼児期や学齢期は保護者が主体となって作成していきます。成人期はご本人が主体となって作成するものです。しかし、支援の内容など、保護者やご本人が把握しにくい部分は、身近な支援者と相談しながら作成していきましょう。

Q2 「生活支援プラン Map (まっぴ)」はどんなことに役立ちますか？

「生活支援プラン Map (まっぴ)」は支援をつないでいくためのツール(道具)です。

新しい所属先や福祉サービス等を利用する際に、必要な支援やご本人の特性などを、新たに関わる支援者に情報を伝えやすくなり、同じことを何度も始めから説明しなくてもすむようになります。

Q3 「生活支援プラン Map (まっぴ)」は誰が保管するのですか？

原則として、保護者(成人期はご本人)またはそれに代わる立場の方が責任を持って保管します。記載する内容は、大変重要な個人情報です。プライバシーの保護など、個人情報の取り扱いには十分な注意が必要です。

Q4 「生活支援プラン Map (まっぴ)」は全て記入しなければならないのですか？

全ての項目を記入する必要はありません。ご本人の支援にとって必要と思われる項目やページを選択して活用します。記入欄が足りない時は、用紙をコピーして、ご本人の成長の変化や状況の変化に合わせて必要な時に書き加えてもかまいません。